

高速メガフィルターIIを搭載、進化する“プラズイオン”。「トリプル脱臭」

省電力化の実現
PTCヒーター&高熱伝導プレート

STEP 1

高速メガフィルターII搭載

触媒の吸着容量 **1.4倍**^{※1}
(当社比)

STEP 2

オゾンユニット

STEP 3

消臭成分^{※3}の放出

前方向4面吸引

強力吸引!

金属酸化触媒
(吸着容量1.4倍/当社比)

吸着!

ヒーター加熱

加熱分解!

ニオイの元を **強力吸引!** + ニオイの元を **吸着!** + ニオイの元を **酸化分解!** + ニオイの元を **加熱分解!**

①強力吸引②大容量吸着③酸化分解で強力脱臭!
加熱処理でフィルターにもニオイ残さない!

STEP 2

オゾンユニット

オゾンの力で脱臭

酸化脱臭!

わずかに残ったニオイも
オゾンのチカラで脱臭!

STEP 3

消臭成分^{※3}の放出

染みついたニオイにも
オゾンがとどく

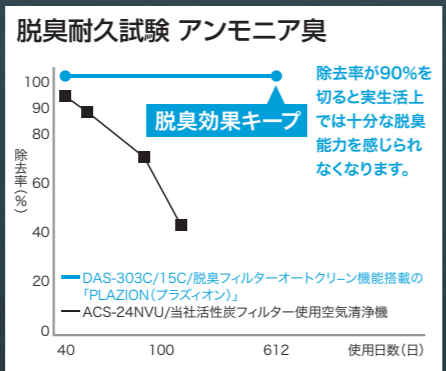
酸化消臭!

消臭成分で染みついた
ニオイもしっかり脱臭!

4方向から空気を吸い込み、強力&スピード脱臭を実現するのは金属酸化触媒の酸化力。酸化作用が悪臭の成分を無臭に変えます。ニオイの元を化学的に分解するので、吸着のみの活性炭フィルターと比べ脱臭の持続力が違います。さらにフィルターはヒーターの加熱作用で24時間毎にオートクリーニングするのでつこい油のニオイなどを残すこともなく、フィルターの交換コストもかかりません。

Point 活性炭フィルターと「高速メガフィルターII」の違い

活性炭フィルターはニオイ成分を吸着して取り除く仕組みのため、使用とともに脱臭力が低下し、一定の期間が経つとフィルターを交換する必要があります。それに対し高速メガフィルターIIは吸着したニオイを化学的に分解し、さらに24時間毎に高温でクリーニングを行うことでニオイの分解を促進するため、10年使用しても脱臭効果が持続します。^{※2}

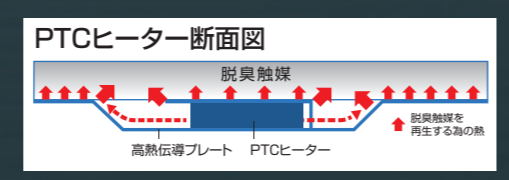


※フィルターオートクリーン運転終了前後には、一時的に温かい風や加熱臭が出ますが、異常ではありません。フィルターオートクリーン中は、脱臭フィルターオートクリーンランプが点灯し、送風を停止します。

24時間毎に熱処理のオートクリーニングだから
フィルター交換コスト **0円**^{※2}

Point 省電力化の実現

PTCヒーター&高熱伝導プレート
自己温度調整機能を有したPTCヒーター。PTCヒーターと高熱伝導プレートによる加熱分解システムが省電力化を実現。脱臭再生時の消費電力は28Wと従来機との比較で44%カット*しました。
*当社従来(PTCヒーター未採用)機種比



フィルターでは取りにくいかすかに残ったニオイは、オゾンユニット内の高濃度オゾンが徹底的に分解します。また、使用したオゾンはオゾンユニットの出口にある金属酸化触媒ハニカムフィルターが分解します。

Point オゾンのチカラ

オゾンは脱臭に有効な自然界にも存在する物質で様々な場所での活用が目まぐるしく注目されています。
■水道局での脱臭処理にも利用。
オゾンの強い酸化力は脱臭に力を発揮し、水中にあるカビ臭原因物質も分解します。

生成した低濃度オゾンを放出。繊維の奥までオゾンが浸透し、お部屋に染みついたニオイを分解します。部屋干しの洗濯物やカーテン、ソファ、カーペットなどの布製品のニオイや家具、壁紙等に付着したニオイもしっかり脱臭します。

Point 低濃度オゾンとは

森林浴などでも耳にするオゾン効果。オゾンは太陽の紫外線などにより生成される物質で、森林などの自然界にも0.01~0.05ppm程度存在しています。「PLAZION」が放出する最大約0.03ppm以下にコントロールされた低濃度オゾンは時間が経つと酸素に戻り、また、放出されたオゾンが再び吸い込まれる際には、高速メガフィルターIIが分解するため室内の濃度が上がることはありません。



※1.アンモニアの吸着容量(当社従来機種DAS-303B比) ※2.日本電機工業会のJEM1467(家庭用空気清浄機)に準じて10年分の臭気を吸わせた後、1m³チャンバー内にてアンモニアの30分間除去率を測定。90%以上の除去率。 ※3.放出される低濃度オゾン(最大約0.03ppm)は時間の経過とともに酸素に戻ります。低濃度オゾンは、再び吸い込まれた時に高速メガフィルターIIで分解するため濃度は高まりません。